

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20152050669001	科目番号 / Subject code	20506690
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ライフサイクルと健康 / Life cycle with health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森藤 香奈子 / Morifuji Kanako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	森藤 香奈子 / Morifuji Kanako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 松浦 江美 / Matsura Emi, 花田 裕子 / Hanada Hiroko, 大石和代 / Ooishi Kazuyo		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	保健学科1年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kanako-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	研究室 保健学科5階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7981		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時メールで受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的事項を学習する。モジュールでは人間の発達や健康問題、障がいや日常生活や社会生活と関連して概論的、モジュールでは各ライフステージや生活の状況における健康問題を掘り下げて学習する。「ライフサイクルと健康」では、対象を理解するためのきほんとなる各期の心理的・身体的特徴を理解し、発達課題および健康課題を学習する。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害発達の視点からライフサイクルを理解し、発達課題および健康課題について説明できる。 2. 各期の健康課題について説明できる。 3. 1~2より援助を必要とする対象をアセスメントするための基礎知識を理解できる。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	他のモジュール 科目「生活障害と人間の尊厳」、「障害とインクルージョン」と連動して学習する。 演習、グループワーク		
授業内容 / Class outline / Con			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配付資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート課題40点、グループワーク30点、授業への貢献30% 講義への出席が3分の2に満たない学生は期末試験の受験資格はない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	コースオリエンテーション 健康とは		(森藤)
第2回	ライフサイクルの理解		(森藤)
第3回	新生児・乳児・学童期	守られる存在	(森藤)
第4回	新生児・乳児・学童期	守られる存在	(森藤)
第5回	思春期・成年期	アイデンティティの模索と確立	(森藤)
第6回	思春期・成年期	大人に向かう身体とこころ	(大石)
第7回	成人初期	次世代を育む視点から	(松浦)
第8回	成人初期	社会的役割・健康問題を中心に	(松浦)
第9回	壮年期	人生の移り変わり：女性の発達課題と健康問題	(大石)
第10回	グループワーク：壮年期	人生の移り変わり：男性の発達課題と健康問題	(森藤)
第11回	グループワーク発表：男性の発達課題と健康問題について		(森藤・松浦)
第12回	老年期	老いを生きる：こころの健康を中心に	(花田)
第13回	老年期	老いを生きる：身体的・社会的役割変化を中心に	(松浦)

第14回	家族の健康とライフサイクル	(森藤)
第15回	まとめ	(森藤・松浦)
第16回		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20152050670001	科目番号 / Subject code	20506700
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	障害とインクルージョン / Disability and inclusion		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 悟郎 / Tanaka Gorou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 悟郎 / Tanaka Gorou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 悟郎 / Tanaka Gorou		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	goro@nagasaki-u.ac.jp, ryoko@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科5階・3階		
担当教員TEL/Tel	田中 (819-7995)、神津 (819-7963)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	田中: 17:00-18:00 神津: 月曜日17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。 モジュールでは人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習する。 「障害とインクルージョン」では、社会的に不利な状況にある障害者や高齢者、子ども、病気を		
授業到達目標/Goal	みんなが共に暮らしていける社会づくりについて説明できる。 理学療法、作業療法の意義と目的について説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	DVDやスライドなど病者や障害者の映像、マスメディアやインターネット記事を見ながら、病者や障害者が抱える今日の問題を考える。他のモジュール科目「ライフサイクルと健康」「生活障害と人間の尊厳」と連動して学習する。 モジュールの3科目共同でテーマを設定し、このテーマについてグループ学習(6名程度)を行い、プレゼンテーションを行う。		
授業内容/Class outline/Con	高齢者や障害のある人が社会の一員として生活するために必要な課題と対応について学ぶ。特に、リハビリテーションの中心となる理学療法や作業療法の役割を理解し、共に暮らしていける社会とは何かについて学ぶ。 理学療法 (神津) 1. 「NHKスペシャル たたかうリハビリ」を鑑賞 2. ビデオ鑑賞から、生と死、健康、障害、偏見、差別について考える。 3. 生と死、健康、障害、偏見、差別、尊厳と理学療法 4. リハビリテーションにおける理学療法の意義 5. 理学療法への期待 6. 地域リハビリテーションに対する長崎大学の活動 呼吸器障害を例にして 作業療法 1. 精神障害を持つ人の生活支援1 (田中悟郎) 2. 精神障害を持つ人の生活支援2 (田中悟郎) 3. 発達障害を持つ人の生活支援1 (徳永) 4. 発達障害を持つ人の生活支援2 (徳永) 5. 認知症を持つ人の生活支援1 (田中浩二) 6. 認知症を持つ人の生活支援2 (田中浩二)		
キーワード/Key word	障害 インクルージョン 理学療法 作業療法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業後に出される課題に関するレポート(30%)、授業やグループへの貢献(20%)、テーマについてのプレゼンテーション(50%)で評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	前の講義で課題を提示する。その課題について事前調査をして講義に臨むこと。講義では、自分の意見が述べられるように準備すること。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20152050671001	科目番号 / Subject code	20506710
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康と運動 / Health and Exercise		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中野 治郎 / Nakano Jirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中野 治郎 / Nakano Jirou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中野 治郎 / Nakano Jirou		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部(保)・1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakano-j@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科3F		
担当教員TEL / Tel	095-819-7919		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	運動不足は運動能力や筋力・骨密度の低下だけでなく、呼吸・循環・代謝・免疫機能などの低下をきたし、生活習慣病、生活不活発病などの原因となる。また、抑うつ、痴呆の進行など心身の機能低下をまねき、生活の質が低下する。健康に生きるための運動の意義と実践方法について学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。 2. 運動の理論と実践方法を学ぶ。 3. 人間の健康における運動の意義を理解する。 4. 運動不足がもたらす健康障害を知る。 5. 医療支援について考える。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義にグループワーク、討論、演習、施設見学等を取り入れ、自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業内容 / Class outline / Con	1回目 (9/30) 健康と運動について考える (中野) 2回目 (10/7) 不活動の影響 (中野) 3回目 (10/14) 腰痛・肩こりと運動 (中野) 4回目 (10/21) 身近な運動機能障害とその対策 (中野) 5回目 (10/28) 生活習慣の振り返りと運動実践の意義を考える (中垣内) 6回目 (11/4) 筋力トレーニングの実際 (中垣内) 7回目 (11/11) 有酸素性運動の実際 (中垣内) 8回目 (11/18) 健康運動 Q&A (中垣内) 9回目 (11/25) 生活習慣病 (石松・山口) 10回目 (12/2) 未定 (石松・山口) 11-15回目 (12/9 ~ 1/20) 病院・施設の見学実習とグループワーク (石松・山口) : 集中講義 16回目 (1/27) 評価 (レポート・中野)		
キーワード / Key word	運動、生活習慣、健康		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	随時、資料を配付する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポートおよび授業に臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表内容などを総合判定する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20152050672001	科目番号 / Subject code	20506720
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康を支える家族と社会 / Health, Family and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO, 本田 純久 / Honda Sumihisa, 大町 いづみ / Oomati Idumi		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]102講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	保健学科1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hirano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールでアポイントメントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	保健・医療・福祉領域における今日の家族および地域社会のありかたについて、定義、機能、健康問題との関連性、今後の課題などを、現在、保健・医療・福祉領域において活動するゲストスピーカーによる話題を分析・考察することを通し、理論的および実践的に学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	健康・病気と、それらをめぐる家族および社会のありかたについて、論理的に説明することができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	健康・家族・社会の関連性についての概念的枠組、事例検討を、ゲストスピーカーによる話題提供を参照しつつ、自ら調査してまとめ、発表を行う。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	健康、家族、社会、ソーシャル・キャピタル		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	70%課題学習の発表・レポート、30%授業への積極的な取り組み状況		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	5月29日 (2限) : イントロダクション、健康・家族・社会の関係 (1) (平野)		
第2回	6月5日 (1限) : 健康・家族・社会の関係 (2) (平野)		
第3回	6月5日 (2限) : 課題学習 (1)		
第4回	6月12日 (1限) : 高齢者の社会的孤立 (本田)		
第5回	6月12日 (2限) : 高齢者を支える地域のつながり (本田)		
第6回	6月19日 (1限) : ソーシャル・キャピタルと健康 (本田)		
第7回	6月19日 (2限) : 鶴の尾団地「助っ人隊」の活動について (鶴の尾町自治会長・山口明)		
第8回	6月26日 (1限) : 健康と家族・事例検討 (1) (大町)		
第9回	6月26日 (2限) : 健康と家族・事例検討 (2) (大町)		
第10回	7月3日 (1限) : 健康と家族・事例検討 (3) (大町)		
第11回	7月3日 (2限) : 健康・家族・社会の関係 (3) (平野)		
第12回	7月10日 (1限) : 健康・家族・社会の関係 (4) (平野)		
第13回	7月10日 (2限) : 地域で暮らす患者をサポートするとは? (長崎大学病院がん診療センター 安藤真紀、青木美帆)		
第14回	7月17日 (1限) : まとめ (平野)		
第15回	7月17日 (2限) : まとめ (平野)		
第16回	まとめレポート		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20152050678001	科目番号 / Subject code	20506780
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人の発達と成長		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	toshiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科 3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7960 (内線: 7960)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・水・金の12:00-12:50 火・木の17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人の定型発達と発達に影響を与える因子について多面的に学び、発達に障害がある場合と対比させることで発達に関する理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	医療者として発達を援助するために必要な知識、考え方を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教員およびゲストスピーカーの講義による話題提供の後、各自調べ学習を行い、翌週グループワークを行う。最終的には発達をいかに援助するかについてプレゼンテーションを行う。		
授業内容 / Class outline / Con	定型発達に関して看護、作業療法、理学療法、保育の立場から講義・話題提供を行い、関連する知識についての調べ学習、グループワークを通して多面的に発達に関連する因子について考察する。また、発達を援助する立場に立ったとき、それぞれの立場でどのような援助ができるかについてプレゼンテーションにより自らの考えを伝える手法についても学習する。		
キーワード / Key word	定型発達 こども		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない (必要に応じて資料を配付する)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	グループワークへの貢献 (30%), プレゼンテーション (20%), 定期試験 (50%)		
学生へのメッセージ / Message for students	こどもの発達を多職種立場から解説します。専門職としての基本的知識としてだけでなく、将来親になった時にも役立てて欲しい内容です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション, 運動発達: 鶴崎		
第2回	運動発達に関するグループワーク		
第3回	認知・対人関係・情動・行動の発達: 岩永		
第4回	認知・対人関係・情動・行動の発達に関するグループワーク		
第5回	母子関係・摂食の発達: 森藤		
第6回	母子関係・摂食の発達に関するグループワーク		
第7回	遊びの発達・集団行動の発達: ゲスト (保育園園長 柿田先生)		
第8回	遊びの発達・集団行動の発達に関するグループワーク		
第9回	遺伝: 森藤		
第10回	遺伝に関するグループワーク		
第11回	発達障害: 岩永		
第12回	発達障害に関するグループワーク		
第13回	運動発達の問題: 鶴崎		
第14回	運動発達の問題に関するグループワーク		
第15回	プレゼンテーションおよび総括		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20157050677001	科目番号 / Subject code	70506770
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	高齢者の暮らしと環境		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中尾 理恵子 / Nakao Rieko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中尾 理恵子 / Nakao Rieko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中尾 理恵子 / Nakao Rieko, 沖田 実 / Okita Minoru, 坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya, 田中 貴子 / Tanaka Takako		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	保健学科1年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	rieko@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7946		
担当教員オフィスアワー / Office hours	担当教員にアポイントをとってください		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>加齢に伴う生物学的変化を学び、高齢者がその背景として抱えている身体的問題を整理する。その上で、環境と高齢者の暮らしや健康とのかかわりについて、物理的な環境とソーシャルサポートといった人的環境の両面からとらえ、医療者の基礎的な支援の視点を学ぶ。</p> <p>身体運動に密接に関わる筋・骨格系、神経系、呼吸・循環系を取り上げ、加齢に伴う生物学的変化を学ぶとともに、高齢者がその背景として抱えている身体的問題を整理する。地域社会の中で高齢者の生活に関連する環境をハード面、ソフト面の両面から理解する。ハード面とは、斜面市街地やバリアフリー、福祉住環境、障害者用住宅といった外部としての環境であり、ソフト面とは、人的環境やソーシャルサポート、まちづくりといった内部としての環境である。</p>		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う筋・骨格系、神経系、呼吸・循環系の変化を理解する。 2. 高齢者の身体的諸問題について理解する。 3. 斜面市街地の現状と高齢者・障害者への影響について述べるができる。 4. 福祉住環境の支援内容がわかる。 5. 高齢者を取り巻くソーシャルサポートとまちづくりがわかる。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>講義前半は、加齢に伴う身体的変化に関する基礎的知識についての講義と、高齢者や障がい者の住環境整備、まちづくりサポートを行っている方々からの話を聞き高齢者の生活支援の視点で応用的に考察をする。</p> <p>講義後半は、実際に学外に出て長崎市の斜面地探検の体験を通して考えた現状や課題と高齢者の身体的特徴との関連をPCプレゼンテーションを中心としたテーマ学習、グループワーク、プレゼンテーション、討論を行う。</p>		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	加齢, 環境, 斜面地探検, グループワーク		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業に対する積極的な取り組み状況30%, グループワーク参加と発表内容・評価40%, レポート・定期考査30%		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス (中尾)		
第2回	加齢に伴う運動器系の変化 (沖田)		
第3回	加齢に伴う神経系の変化 (坂本)		
第4回	加齢に伴う呼吸・循環系の変化 (田中貴子)		
第5回	環境と健康の関連から生ずる諸問題 (中尾)		
第6回	長崎市の斜面市街地開発 (環境学部 杉山)		
第7回	バリアフリー住宅と高齢者専用住宅 (斜面研究会理事 一級建築士 平野啓子)		

第8回	障害者の在宅環境と支援（高齢者生活支援研究会）
第9回	人々の支えあいのまちづくり（北陽町つなむ会 三浦隆）
第10回	地域活動ボランティアとQOL（中尾）
第11回	学外演習「斜面地探検」
第12回	学外演習「斜面地探検」
第13回	グループワーク
第14回	グループワーク
第15回	総合討論会（プレゼンテーションによる発表会）
第16回	